

上末吉福祉だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡邊 武

まちに花とおしゃべりを！・・・梶山花壇

地域の話



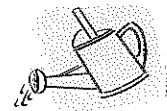
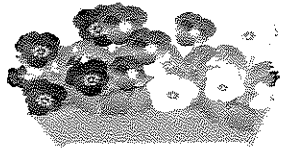
梶山自治会では、一昨年から「梶山花壇」に取り組んでいます。自治会が会員に苗を渡して育てていただき、まちの美化を図っています。22年度と23年度は春に、24年度は春と秋の2回、取り組みました。

自治会の回覧で、花の苗の配布希望者を募ります。条件は敷地内の道から見えるところに植えるということだけ。直植えでもプランターでも構いません。道行く人も楽しめるところがミソです。

春は、夏から晩秋にかけて次々に花をつける、鶴見区の花「サルビア」。秋は冬中咲き続けるパンジーでした。それぞれ各世帯5鉢ずつお分けしました。

「梶山花壇」にはもうひとつ、目的があります。それは、花をきっかけに会話が弾むということ。同じまちに住む同士、「まあ、きれいですね」の声かけがきっかけで、コミュニケーションが広がればと考えています。

この秋は自治会会員の約2割の世帯が応募してくれました。この冬は、パンジーがまちに可憐な彩りを添えています。



上末吉地区社協研修会

施設見学会「ねむの木学園」 1月29日(火) 参加者33名

絶好のお天気に恵まれた一日を、静岡県掛川市にある肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」を見学しました。訪問した時はリハビリの最中でしたが、健康な人もハンディを持った人も、大人も子どもも、共に感性を育てることを重視したというモンテッソーリ教育を取り入れた学園の教育環境は、とてもホットする温かさを感じました。

学園は、1968年女優の宮城まり子が肢体不自由児のために設立開園し、現在は、身体障害者療護施設のどかな家をはじめとし、喫茶 MARIKO、がらす屋さん、ガラス工房、雑貨屋さん、毛糸屋さんなど…ねむの木村も運営されています。

かなり大きな敷地には、可愛くペイントされた施設が数多く点在し、どの建物内もゆったりとしたスペースがあります。

こども美術館「どんぐり」では、色彩や構図のすばらしい作品がならび、感動。

学園生の作品、平成23年カレンダーは全国カレンダー展で賞を2つもとっています。帰りのバスでは、この感動を何か表せないかと提案があり、参加者全員で募金を募り、送らせていただきました。



会食会「やよい会」のあゆみ

上末吉地区社会福祉協議会は、昭和50年に設立されました。今年で37年目になります。

上末吉社協の長期の事業として、ひとり暮らしの高齢者を対象にした会食会「やよい会」があります。長い歴史があるということで今回は「やよい会」のあゆみをひもといてみました。

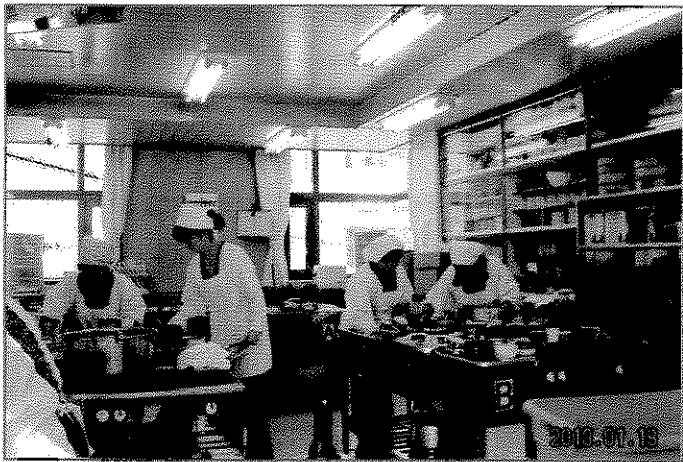
現在の「やよい会」の前身は、「上末吉地区在宅福祉サービス給食会」として昭和61年1月29日に第1回が実施されました。鶴見区社会福祉協議会・在宅福祉サービス実験地区としてスタートしました。

そして、昭和63年2月には「やよい会」という名前が付きまして。

内容も昭和61年12月は茶話会、62年1月はお雑煮会として普段の会食会と趣きを変えた会食会だったり、平成4・5年4月には末吉神社境内で「お花見会食会」と名前の通り、桜の木の下での楽しい会食会だったようです。

また、開催場所も「末吉地区センター・中会議室」が会場として使われていました。

おいしい手料理の作り手は、当初から、現在も変わらず、連合7町内会持ち回りで、各町婦人部の方々のお世話になり、実施されています。



カレンダー

- 3月 1日 (金) 金曜えがお亭
- 3月 15日 (金) やよい会 老人の集い
- 3月 18日 (月) ほんぼこりん広場
- 4月 5日 (金) 金曜えがお亭
- 4月 15日 (月) ほんぼこりん広場
- 4月 19日 (金) やよい会
- 5月 3日 (金) 金曜えがお亭
- 5月 17日 (金) やよい会 老人の集い
- 5月 20日 (月) ほんぼこりん広場



ふらっと一む

ほんぼこりん広場



会場 上末吉二丁目会館 10時～12時

前の週に降った雪がまだ残る寒い日、子ども達は集まらないかもしれないと心配していましたが、6組の親子が広場に遊びに来てくれました。初めてという親子が2組も加わり、いつも来てくれている女の子はお休みで、全員が元気な男の子でした。

お母さん達は、子ども達の遊びを見守りながら、お互いの子ども達のことなどを話したりと、のんびり2時間を過ごしていました。

次回の2月18日のほんぼこりん広場は、可愛い「おひな様」を作ります。ボランティアさん達は事前に折り方の練習をして、お母さん達と一緒に折ります。

沢山の親子さんが来てくださることを願っています。



今年も、気をつけたい花粉症

スギ花粉飛散は、2月～4月、4～5月はヒノキ花粉が飛散し、今年も昨年より1.7倍の飛散が予想されています。

◎花粉症と風邪の違い

同じような症状が出る「こと」があるので勘違いする「こと」があります。風邪は、ウイルスによる感染症の一種で発熱などの痛みを伴い、鼻水は数日で黄色鼻汁になります。目の痒みが出る「こと」は殆んどありません。一方花粉症は、クシヤミの回数が手がかりの一つで、5、6回もクシヤミが続くときは花粉症の可能性があります。この症状に加え、鼻水や目の痒み、顔の腫れなどがあれば花粉症かもしれないのでお医者さんに見てもらいましょう。

◎対策

◆花粉飛散情報入手する ◆外出は控えめに、特に午後1時～3時ごろは控える ◆外出時は帽子やマスク、メガネ、シルシルした素材の衣服を選び、外で花粉を払い、家の中に持ち込まない ◆帰宅後はうがい、洗顔、習慣とする ◆布団は、午前中に干し、取り入れるときはよくはたき、表面に掃除機をかける ◆室内は掃除機をこまめにかける ◆空気清浄機を活用するなど。

